

## ① 2期目の取り組みについて

2期目の御当選を心よりお慶び申し上げます。また、今回の熊本地震で亡くなられた方々に対しまして、心よりのお悔やみを申し上げますと共に、被災された方々の早い復旧を心よりお祈りいたします。さて、「住みたい」「住み続けたい」「住んでよかった」と思えるような、幸福度日本一の町をつくりたいとのインタビューがありました。すばらしい事と思います。先人の言葉や話題の言葉を思い出してみたいと思います。3月12日の産経新聞に「あの人（菅直人氏）を総理にしたから天罰が当たったのではないか」東日本大震災発生当時、原子力安全委員長だった人が8日のフジテレビ番組でこう語ったことが巷で話題を呼んでいる、との記事がありました。吉田町長におかれましても、「あんな人」が長与町長になったから長与町はダメになったとならない、名君になってもらいたいと思います。今後4年間、誠の心で町民のために取り組んでほしいと思います。そこで以下について、お尋ねします。

- (1) 4年間を振り返って、どういう気持ちで取り組むのか。
- (2) 夕張メロンで有名な夕張市が平成18年に巨額の赤字を抱えて、財政破綻したことは放漫経営や議員の能力のなさが話題となりました。今後の事業計画はどうなるのか。
- (3) 団地の高齢化に対処したいと話しているが、どういう対策か。
- (4) 熊本地震を教訓にどのような対策が必要となってきたのか。また、ニュータウン防災センターも避難所となる訳だが、高齢者も多くなり、洋式便器の必要性も出てきている。男女1器ずつでも取り替える必要があると思うがどうか。また、北公園を嵩上げして避難場所に利用する考えはないか。また、長与小学校の屋上プールの安全対策は充分か。
- (5) 危機意識を常に持つべきであると日頃より指摘をしてきているが、この危機意識とは、災害だけではなく、住民や行政、教育関係全般のことである。例えば、ごみ問題である。今、行政離れや自治会離れがある。どのように考えるか。また、施設に対する利用者管理に苦情が出ている。例えばテニスコートに対するものである。改善する必要があると思うがどうか。